

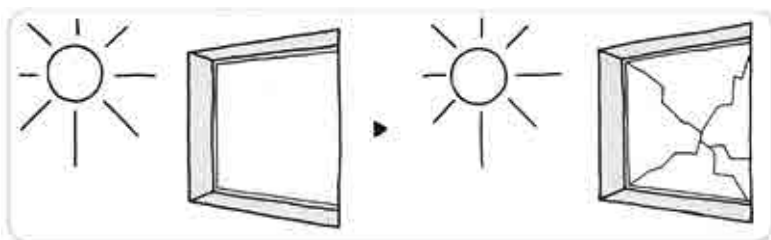
1 作業環境と下地調整

タックペイントが使用できない用途

タックペイントは屋外用マーキングフィルムとして様々な場所にご利用いただけます。ただし、下記の用途では問題が発生することがありますので、使用を避けてください。

■ 直射日光が当たる窓ガラスに全面に貼る場合

太陽熱でガラスが割れる恐れがあります。特に、網入りガラスには注意。



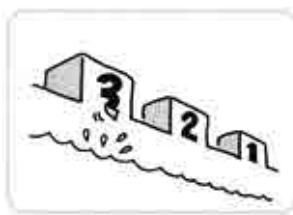
■ 人体への使用

かぶれるおそれがあります。



■ プールやサウナでの使用

水中・高温・高湿度下では水の浸透により剥がれることがあります。



■ 床面での使用

摩滅や剥離をおこしたり、滑って転倒したりするおそれがあります。



■ 高水圧洗車を使用する場合

水圧により、端面から剥がれるおそれがあります。



注意 作業中の安全について

- 剥離紙の端面に沿って手を滑らせると、切り傷を作ることがあります。
- 剥離紙の上を歩くと、足を滑らせて転倒することがあります。

1 作業環境と下地調整

快適な作業環境について

■最適な作業環境について

貼り付け作業は5～30℃の温度が最適です。

□冬期 5℃以下の場合

気温が低い場合は接着力が低下します。フィルムは屋内で温め、下地基材はジェットヒーターまたはドライヤーなどで適温に温めてから強く接着してください。

- 冬期はウエット工法(水貼り工法)は避けてください。

□夏期 30℃以上の場合

気温が高いと接着力が強くなり、作業しづらい場合があります。朝夕の気温の低い時、または日陰などで作業してください。

- フィルムを冷暗所で保管して温度を下げ、下地基材は濡れたウエスなどで拭いて温度を下げてください。
- ウエット工法の場合は中に入れる家庭用中性洗剤の量を少し増やしてください。(洗剤濃度は0.3%まで)

■施工は明るい場所で

- 暗い場所で施工すると、気泡やハガレなどを見落とすことがあります。作業場が暗い場合は補助照明などを利用してください。



■塵やホコリの多い場所での施工は避けてください

- フィルムと下地基材の間に塵やホコリが入ると、仕上がりに凹凸ができたり、気泡が発生したりする原因になります。
- 作業場周辺の床を清掃した後、ホコリが立たないように注意して施工してください。



作業に必要な道具

●スキージー

フィルムを圧着するために



●スキージーパット

「ピタッとくん」



●軍手

●カッターナイフ

●ダーマト鉛筆

●メジャー

●三角定規

●マスキングテープ

●スプレー

●アルコール・Aベンジン

●ウエス

●ドライヤー

●リベットブラシ

スキージーの代わりに指や手を使うために

フィルムのカットや気泡の処理に

貼り付け時の位置決め

位置決めやフィルムサイズの確認に

フィルムの採寸や角度合わせに
カッター刃が入らない金物定規をおすすめします

フィルムの仮止めやガイドラインとして

清浄やウエット工法に

下地基材の汚れや油分の清掃に

下地表面の清掃や水分の拭き取りに

洗浄後の乾燥や下地基材の加温に

リベット部の圧着に

1 作業環境と下地調整

下地基材の調整

下地基材を確認し、美しく施工できるように下地を整えてください。

■下地基材の確認

フィルムの性能を十分に発揮させるため、下地基材（貼り付ける対象）の種類を確認してください。

●ガラス

表面が平滑なものは問題ありませんが、新築の場合には保護剤が塗布されているものがあります。
この時はホワイトガソリンやアルコールで除去してください。

●金属

銅・真鍮以外の金属は問題ありません。ステンレスはあらかじめご相談ください。

●石

鏡面仕上げのものは問題ありません。

●プラスチック

十分な接着力を得られないものもあります（下記参照）。

●塗装面

十分乾燥しており、劣化していなければ問題ありません。ただし、十分な粘着力を得られないものもあります（下記参照）。

●フレキシブル・フェイス（FFシート）

フィルム専用タイプをご使用ください。

⚠注意

ステンレス板に貼り付けて屋外使用する場合、条件によって粘着剤の劣化が起こることがありますので、あらかじめご相談ください。

■施工に適していない下地基材

下記の下地基材ではフクレ・ハガレなどが発生する可能性がありますので、事前に十分な検討が必要です。

●アウトガスを発生する基材

ポリカーボネートにはアウトガスを発生するものがあります。

●遊離成分が含まれている基材

ターポリン、軟質塩化ビニールなど。

●粘着力が得にくい基材

ポリエチレン、ポリプロピレン、シリコン塗装物、フッ素塗装物など。

●粗面のために十分な接着力が得られない基材

ヘアライン加工した金属板、発泡体、ベニヤ板、コンクリート、モルタル、スレート、布地など。

■下地の状態と調整方法

下地の汚れはウキ・ハガレの原因となります。また、表面に凹凸があると美しい仕上がりは期待できません。

下地基材の汚れを落として平滑にしてください。

●ホコリ・ゴミ

ウエスに中性洗剤を含ませて清潔にした後、水拭きで中性洗剤を取り除いてください。

●汚れ・油分・錆・糊跡

アルコール・Aベンジン、ホワイトガソリンなどで清掃してください。

●キズ・ヘコミ

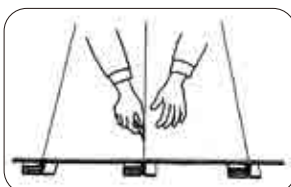
パテで埋めて平滑にします。

●粗面

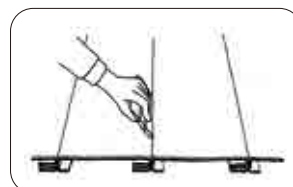
グラインダーサンドペーパーで平滑にします。

⚠注意

スパンドレルなどのように、下地基材に継ぎ目がある場合には、継ぎ目部でフィルムをカットしてください。



①継ぎ目の中心でフィルムをカットします。



②スキージーでフィルムを圧着します。

以上の処理後は、下地を太陽光またはドライヤーで完全に乾燥してください。